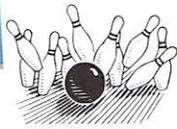


田中っ子と
新たな企画で楽しもう！

田中中学区

ボウリング大会



田中中学区では、年1～2回のボウリング大会を開催しています。

大会といっても厳密に順位を決めるものではなく、学区の方々の交流の場となるような、楽しく参加できる大会を目指しています。

誰が一番多く倒せたかな？



大会について説明中



集まった時にはもじもじしていた子どもたちも、ゲームが始まってしまうえばみんな笑顔。

知らないお友だちともあっという間に仲良し！



結果発表！お疲れ様でした！



田中中学区について

田中中学区では、ボウリング大会及び地域の青少年健全育成推進協議会によるスポーツ・レクリエーション等の行事を行なっています

この他にも地域に根付いた活動をしていけるよう、様々な企画を考案中です。

こんなイベントがあったらいいな、等のご意見がありましたら、遠慮無く声を掛けてください。

光ヶ丘中学区

誰よりも楽しむ 光中！

南部地区にある光ヶ丘中学区。地域のどの行事にも多くの人に参加する、活気あふれる地区です。

今年も来たよ・・・

そんな声が光ヶ丘小学校の体育館にひびきわたる「光ヶ丘小レクリエーション大会」です。

その年その年にあった出来事をテーマにし、工作系・運動系と子どもたちがわくわくするようなものを考えます。

2012年は「金環日食」など天体に興味を持とう！ということで懐中電灯を使った自分だけのプラネタリウムを作りました。

50名の定員に82名の申込みがあるほどの盛況ぶり、タイムリーなものだけにきっと気に入ってもらえたのだと思います。



完成後、暗くしたテントの中で自分だけのプラネタリウムから映し出される星を、みんなで観測しました。「わー！！」という歓声が上がり天井にはたくさんの星がまたたきました。

日本の良さを感じる・・・

小学校のレクリエーションは毎年新しいものを取り入れていくのに対し、光ヶ丘中学校でのレクリエーションは「もちつき大会」を毎年行っています。町内会やお店でもちつきをしているところがありますが、なかなか中学生が参加できる機会は少ないので、学校の校庭でもち米をふかすところから体験してもらっています。



部活動の一環として全員参加のところもあり、毎回賑やかなもちつき大会となります。

光ヶ丘小学校の6年生には一足早い中学生の雰囲気を感じてもらえればと思い、お誘いしています。



もちつきの杵や臼は今ではあまり見る機会がなくなり、つきたてのもちを食べられることは本当に貴重なことのようにです。

地元のつくしが丘町会から道具を一式お借りし、地域の皆さんにもご協力を頂いています。

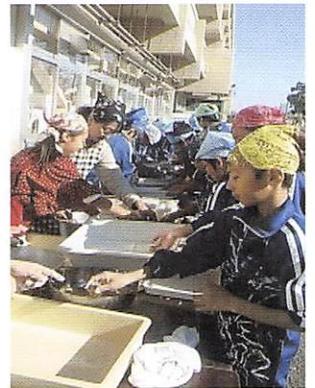
光のネットワーク

相談員のつながりは、三年間だけでなく、今までもそしてこれからも続いていくものだと様々な行事を通して思います。

自分たちだけではうまく出来ないところを、相談員の先輩方に手伝っていただくこともあります。

本来なら現役相談員で企画し、運営するのが学区活動ですが、お手伝いいただく先輩方には、相談員の同窓会とさせていただくという口実でお願いしています。

皆さん快く引き受けてくださり「あの年は雨が降って大変だったね」など当時を振り返っています。



毎年、学区活動は少しずつですが、変化をつけるようにしています。

子どもたちは『たぶん次はこれが来る』と眼を輝かせているのに対し、良い意味での裏切り！？をこちらも用意したいと思っています。

子どもの反応を楽しみ、大人にはない柔らかな発想に、感心することがいくつもあります。作り方通りに作れば、時間もかからずに出来上がるのに、自分だけのものを作るというテーマを忘れません。

光ヶ丘中学区では、これからも子どもたちの発想や柔軟さを大切に、学区活動を行っていきたいと考えています。

柏第四中学区

柏四中学区は、柏八小・名戸ヶ谷小・柏四中の3校で構成されています。恵まれた自然環境の中、柏第四地区青少年健全育成推進協議会を中心に、学校と連携を図り、青少年の健全育成活動が推進されています。

柏四中学区相談員は、つり大会、リーダーキャンプ、三世代ふれあい運動会、夏季・冬季パトロール等、地域に密着した活動を行っています。

夏休みリーダーキャンプ

夏休みも中盤に差しかかる頃、青少協主催の『リーダーキャンプ』が二泊三日で行われ、相談員も共に活動しています。

小学4年生から中学3年生までの子どもたちによる一大イベントです。



昨年は、日本で最も古い学校として知られる足利学校を見学し、その後、佐野市あきやま学寮へ行きました。

川遊びを楽しんだ後、バーベキュー、キャンプファイヤー、あつという間に一日が終わります。そして古代にタイムスリップしたかのような竪穴式住居でのお泊りも楽しみのひとつです。

ハイキングやアスレチックで体を動かし、木工細工で手や頭を使う…。次々と体験を重ねて



行く子どもたちの姿がだんだん、たくましくなっています。ここでの経験は、これからの成長にきっと役立ってくれることでしょう。

自由な心で、羽ばたこう！

自然環境が守られている名戸ヶ谷ビオトープや、柏レイソル本拠地のある新興住宅街です。

親子つり大会

小学生を対象に年一回『親子つり大会』を開催しています。親子ペアで制限時間内に釣れた数を競うのですが、これがまた難しい！

親子の呼吸はもちろんの事、その日の天候・気温によっても釣れ方が左右されます。お父さんお母さんのリードのもと、的確なポイントに針を落とし次々と釣り上げる子、黙々とエサをつけ次こそはとチャレンジする子、どの子もみんな真剣なまなざしです。



やったあ〜 つれたよ！

三世代ふれあい運動会

世代を越えた地域の方との交流の場となっているこの運動会は、毎年10月の終わりに柏四中のグラウンドで盛大に行われます。



おいしそうなパン GET♪

個人競技はもちろんのこと、リレー、玉入れ、大玉を使ったボール送りなど、様々な世代を交えての競技が盛りだくさん。中でも全員参加のパン食い競走は大人気の競技です。

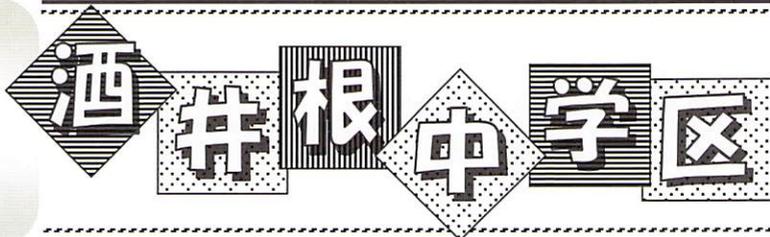
これからの活動について

自然とのふれあい、人とのふれあいを大切に活動する学区をめざし、現在18期のメンバーで新たなイベントを模索しているところです。

団体活動を通して子どもたちが友情を深め、心と体の成長を育む手助けが出来るよう、これからも活動していきたいと考えております。

エンジョイ 酒井根ッ子♪

3校の小学校から成る酒井根中学区。
色々な活動から仲間との触れ合いを
大切に豊かな心を築いて行きたいと
思います。



ヘルスパレー チームワークはバッチリ!



全体研修で行われたヘルスパレーを小学生対象
に開催しました。低学年～高学年まで沢山の子ども
たちに楽しめるスポーツで、学区の恒例行事として
参加してもらえるように計画しました。ボールが思
った所に行かず…ちょっと苦労する事もありまし
たが、子どもたちは自主的に練習するなどして楽し
い時間を過ごしました。



クッキング教室

好評で、定員をはるかに超える申込みがありました。
参加者は、クッキー作りに挑戦！工夫をこらした
オリジナルのクッキーが、沢山焼き上がりました。
その他、サンドイッチやフルーツポンチなども
作り…子どもたちとワイワイ楽しい食事会になり
ました。



《木エクリスマスリース作り》

初めて講師の方を招いての行事…親子木エクリ
スマスリース作りを開催しました。思った以上に大
勢の参加で、会場は大賑わいでした。時間を忘れて
真剣に作る子…子ども以上に真剣に作っている、お
父さん、お母さんの姿が印象的でした。



キャンドル作り

夏休みに、4～6年生を対象に、キャンドル作り
をしました。14名の子どもたちが参加してくれま
した。会場は酒井根近隣センターの調理室。4～5
名のグループに分かれて、相談員も一緒に一人一
つずつジェルキャンドルを作りました。小さなコッ
プの中に思い思いに飾りを入れ、ホットプレートで溶
かしたジェルキャンドルを流し入れ、冷蔵庫で冷や
します。子どもたちと相談員でおしゃべりをしなが
ら楽しく作りました。



西原中学区

素敵な思い出たくさん作ろう！

西原中学区は、西原小、十余二小、西原中の3校からなる学区です。県立柏の葉公園など公園が多く緑に囲まれた地域です。

西原中学区は、毎年、相談員全員で学区活動の計画を立案し、好評だった企画を練り直し、レベルアップして実施したり、新しいことにチャレンジしたりして学区活動を実施しています。

【300人！？以上が参加した流しそめん】

いまや西原中学区相談員の中では、伝説？となっている流しそめん大会。流しそめん+ばけつプリン+フワドッチというメニューを用意して、7月の暑い日、十余二小学校をお借りして行いました。

参加人数に制限を設けずに募集を行ったところ、300人を超える応募があり、相談員一同、唖然とする一方、企画を受け入れてもらえたことに喜び、



事故の無いよう気を引き締めて計画の見直しを行おうと話し合いました。

近所の竹林をお持ちの方のご厚意で竹をいただき、流しそめんの台と器作りに使用しました。竹の切り出しは、学校の先生にもお手伝いいただきました。

当日は、子どもたちを5つのグループに分けて、流しそめん、器作り、フワドッチ等をローテーションで実施することで、一か所に集中しないよう、相談員全員が各ブースに分かれて運営しました。

子どもたちは、器作りで竹を切るときに、子ども同士で助け合ったり、流しそめんでは、たまに流れるフルーツの取り合いをしたり、バケツで作ったプリンの大きさに歓声を上げたりと楽しい時間を過ごせたと思います。

実際の子どもの感想もみんな口を揃えて、『楽しかったー』『またやりたーい』などの声が多く、暑い中、夢中で取り組んで良いイベントにすることができました。

終わった後の相談員や協力してくださった方たちが、『夢中でやっていたから全然覚えていない・・・』と言ったほど子どもたちと楽しく、濃密にかかわることができたイベントでした。

またいつか、レベルアップした流しそめん大会を実施したいと思います。

【本格的！お箸知育教室】

子どもたちに普段なかなかできない体験をさせてあげたいという思いから実施した活動が、お箸の知育教室です。

外部から講師を招き、プロ野球などで使用して折れたバットを材料にした、世界に一膳しかないオリジナルの「My箸」を作ろう、というものです。



自分の手のサイズを測ったり、木地をのこぎりで切ったり、切った木地に色をつけたりして、箸を作っていました。

子どもたちは目をキラキラさせて、楽しく、時には悩みながら作業をしていました。木地を切るのに苦労している女の子に男の子が手を貸してあげたり、男の子の色付けを女の子が手伝ってあげたりと、ほほえましい光景が随所に見られました。

色付けまで終わった箸は、一旦先生方に預けて、後日漆塗りを施して手元に戻してくれるということで、今では、この本格的な「My箸」でおいしいご飯をいただいていることと思います。

【千葉の郷土料理！飾り巻き寿司教室】

千葉の郷土料理を子どもたちにも知ってもらおうと開催した巻き寿司教室。



実際に作って見たのは、「薔薇」と「四海巻^{ほらしかいま}き」というお寿司です。

最初に薔薇のお寿司を見た子どもたちは「こんなの作れないよー！」と悲鳴をあげていましたが、

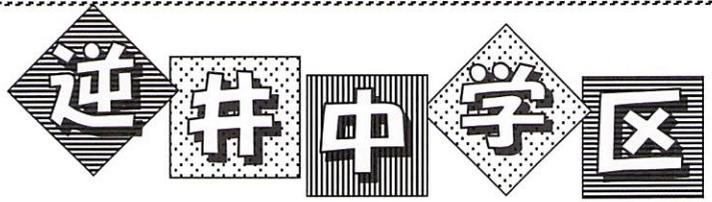
実際始まってみると真剣なまなざしで取り組んでいました。ベタベタした酢飯に悪戦苦闘し、みんなで確認しあいながら作った巻き寿司は、全員ちゃんと柄ができていました。最後は、もちろん！おいしくいただきました。

これからも青少年相談員として、子どもも大人も一緒に楽しめる、一緒に成長できる、そんな西原中学区にしていきたいと思っています。

笑顔がいっぱい 元気に楽しもう！

「子どもたちを地域で見守り育てていく」
そんな活動が盛んな地域です。

相談員も地域の一員として、サマーフェスティバルやパトロール、啓発活動などに協力しています。



流しそうめん & ドッチボール大会



夏休み近くになると、逆井中・土中の2学区で合同行事が行われます。

対象者は、学区内にある増尾西・土・藤心・

逆井小学校の4～6年生。参加人数は4校で100人程になります。

いくつかのグループに分かれて、体育館ではドッチボール大会。高学年が中心になり、試合にも応援にも熱が入り、大いに盛り上がります。

試合の合間には、もうひとつの楽しみ「フランクフルトと流しそうめん」が食べられます。

自然の竹で作ったそうめん台は、全長5メートルあり、竹の香りがほんのりします。汗をかいた後の冷たいそうめんは、グッド！

そうめんの合間にフルーツを流すと、ワーと歓声があがり、子どもたちは、いち早く取ろうと必死でした。



違う学校の子どもたちとも仲良くなり、お腹も心もいっぱいになる、毎年恒例の楽しい行事です。

初めて釣ったよ！ へらぶな釣り大会

少し肌寒く感じる秋に小学生4～6年生対象に「へらぶな釣り大会」を開催します。



場所は、逆井小学校の側にある「逆井へらぶなセンター」で参加者は約30人程。馴染みのない「魚釣り」に子どもたちはもちろん、相談員もほとん

んどが初心者でした。まして「へらぶな」は釣りの中でも繊細で難しいと言われています。

しかしこの企画は、子どもたちに地元で遊ぶ釣りの楽しさを味わってもらおうと考えたもの。釣れなければ台無しです。

そこでひと肌脱いでくれたのが、こちらの常連の方たちでした。子どもたち一人ひとりに、手取り足取り「基本動作」を教えてくれました。

しばらくすると、その成果はみごとに表れ、一人また一人と釣りあげていきました。そして、ついに子どもたち全員が魚を手にすることができたのです。閉会式の中で子どもたちから、常連の方たちにお礼を言うと、照れくさそうに笑っていました。最後は、みんなにっこり「記念撮影」。地域の方々と共に過ごした、楽しい「釣り大会」でした。



うきをよ～く見てね！

にゅるにゅる ドロドロ！

スライム作り

サマーフェスティバルでも、作るよ！



よ～く 混ぜてね！

「春のつどい」の逆井中学区と言えば、定番となった「スライム」作り。相談員たちは、試行錯誤を繰り返し最適な肌触りのスライムに仕上げるための努力を惜しみませんでした。

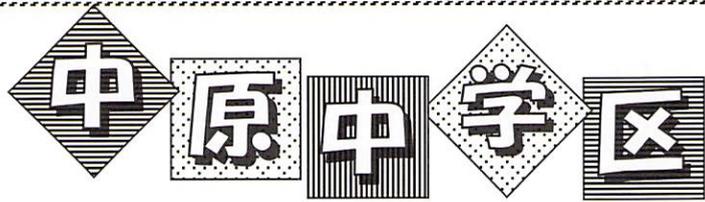
また、効率的に誘導するために、コップや割り箸にあらかじめ分量を記入しておき、子どもたち自らに任せられるスタンスをとりました。

ホウ砂と洗濯のりと水を混ぜ合わせて出来るドロドロの物体は、いつも子どもたちに大人気です。

最近では、いろいろな色水を用意してカラフルなスライムができると、リピーターも現れ、更に盛り上がっています。

明るく、楽しい活動をめざします。

中原中学区は、柏市の南西部に位置し、東武野田線の新柏駅を中心に、閑静な住宅地が広がり、静かで住みやすい地域です。

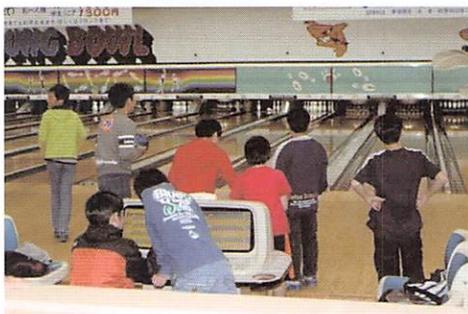


中原中学区の青少年相談員は、中原中学校・中原小学校・柏第八小学校・豊小学校、各地域の10名で構成しています。

中原地区の恒例行事である『ゆずり葉コンサート』(12月)、『ハ小フェスティバル』(10月)、『中原おやじの会行事』への協力参加を中心に活動しています。

相談員主催の活動としては、4月にボウリング大会を行い、子どもたちと交流を深めています。

新しい友だちみ〜っけ！ 〜ボウリング大会〜



4月のボウリング大会では、新年度を迎えた子どもたち同士の、また子どもたちと相談員の交流ができ、とても有意義な行事となっています。

年々、参加者が増えて、中原地区の恒例行事となりつつあります。ボウリングを初めてする子どもも多く、一投ごとに歓声や笑い？が起こり、とてもにぎやかで楽しい大会です。



子どもたちと交流を深めて

工作教室とドッチボール大会 〜中原おやじの会とともに〜



はじめは、真剣な表情で黙々と作品制作していますが、完成すると、みんな満足そうな笑顔に変わります。親子での参加も多く「子どもたちとの会話が弾むひとときを過ごせる」との声が多くあります。

ドッチボール大会は、とても活気があります。ボールをパスする時に、声を掛け合いチームワークが生まれます。

これからもスポーツを取り入れた行事を開催したいと考えています。



いつでも子どもたちの傍らに

中原中学区では、様々な活動を通じ子どもたちとふれあうことにより、心と体の成長の手助けができればと思っています。

これからも、そのために活動を活発にし、ますます交流し合えるよう、また、子どもたちにとって、心から信頼できるおじさん・おばさんになれるように努力していきたいと思っています。